

令和 3年度 行政評価事業別シート

実計対象 <input checked="" type="checkbox"/> 評価対象 <input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了事業 <input type="checkbox"/> ゼロ予算事業 <input type="checkbox"/> 担当者 堀内理恵 全体計画 経費区分 実施計画事業費 内線 3248	
事務事業名	4122 公共交通対策事業
所 属	120500 市民環境部・市民課
施 策	16033500 公共交通の確保
予算 科目	会計 01 一般会計
	科目 020111 総務費・総務管理費・交通防犯費
	事業 020000 公共交通対策事業
事業目的	事業概要・効果
交通手段を持たない者のため公共交通を確保する ①須坂市地域公共交通会議が運営する「すざか市民バス」・「すざか乗合タクシー」の運行等を支援。 ②屋代線代替バス運行等事業を支援。 ③長野電鉄が実施する施設整備事業を支援。	・タクシー、バス、鉄道などの交通事業者等に対し、事業支援を行うことにより、公共交通の確保を行う。また、市民に対し広報などを通じ情報を発信を通じて、みんなで利用して支えることの周知を図り、持続可能な公共交通を目指す。

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 予定
すざか市民バス、乗合タクシーの運行 76,743人 屋代線代替バス運行事業補助金 長野電鉄の安全設備整備事業へ補助 バスICカードくるるを乗合タクシーへ導入 免許証自主返納者へバスICカードを1枚贈呈 (R2～)	すざか市民バス、乗合タクシーの運行 屋代線代替バス運行事業補助金 長野電鉄の安全設備整備事業へ補助 免許証自主返納者へバスICカードを1枚贈呈 Googleへのすざか市民バス情報の掲載等
令和 4年度 予定	令和 5年度 予定
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定

指標名	「公共交通の確保」の満足度（％）					
算式	市民総合意識調査による				単位	％
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標				25	
	実績					
指標選定の理由	満足度が高いことにより、住民に必要な公共交通が提供できていると判断できるため					
最終年度目標の根拠	須坂市地域公共交通会議での公共交通計画の策定等を通じて、利便性の向上を図ることにより、2019年度実績から5年間で35%増を目標値に設定					
指標名	「電車、バス、乗合タクシーを利用している」人の割合（％）					
算式	市民総合意識調査による				単位	％
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標				20	
	実績					
指標選定の理由	公共交通を利用する者が増加することが、持続可能な公共交通の確保につながるため					
最終年度目標の根拠	利便性の向上を図り、また広報やSNS等を利用し公共交通が必要な人たちのために、住民全体で支えなければ持続が困難であることを周知することにより、2019年度実績から約20%増を目標値に設定					
指標名						
算式					単位	
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		令和 2年度 決 算	令和 3年度 予 算
事業費		106,156	106,925
特定財源	国庫支出金	7,603	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		98,553	106,925
人員数(人)	正規職員	0.9	1.5
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.6	0.3
人員コスト	正規職員	6,271.2	10,452.0
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	1,006.8	503.4
	計	7,278.0	10,955.4
市民一人当たりの経費		2.2	2.3
総額		113,434.0	117,880.4

(単位：千円)

令和 2年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	354	公共交通会議 委員・アドバイザー謝礼152
10節 需用費	10	事務用品9
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	104,576	須坂市地域公共交通会議への負担金77,639 屋代線代替バス6,287、長野電鉄への補助金20,630
その他	1,216	臨時職員賃金・社会保険料1,057、旅費・郵便料159

(単位：千円)

令和 3年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	646	公共交通会議 委員・アドバイザー謝礼246、運転免許自主返納促進事業400
10節 需用費	25	会議用お茶6
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	105,020	須坂市地域公共交通会議への負担金8072,400 屋代線代替バス11,600、長野電鉄への補助金21,000
その他	1,234	臨時職員賃金・保険料1,070、旅費144、郵便料20

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	必要不可欠
評価コメント	交通手段を持たない者の移動手段の確保のため、必要である。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	新型コロナウイルス感染症拡大の影響による利用者減の回復に努める。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	地域公共交通会議にて、地域公共交通確保維持改善事業費補助金を活用し、運行を行っている。 また、車両の更新を行い車両維持及び運行経費のコスト削減を図った。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

公共交通の整備を行い、利用しやすい交通手段を目指すとともに、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により減少した利用者をどのように回復させるのか検討を行う必要がある。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	進め方の改善（拡大）	次年度以降の方向性	進め方の改善（拡大）
総合評価コメント		2次評価コメント	
<p>コロナ禍の影響を受け業績が大幅に悪化した。利用者が安心して利用できるよう感染防止対策の周知を強化し利用促進を図る。また、持続可能な公共交通構築のため、公共交通の必要性の理解や関心を高める取り組みが必要である。</p>		<p>乗って活かす、乗って残す公共交通といった意識が大事。そのために、乗りやすく・利用しやすくするための工夫、取組みが必要である。</p>	

外部評価

次年度以降の方向性
外部評価コメント